

第3学年 国語科学習指導案

児童 2組 男子11名 女子11名 計22名
指導者 河井 博子

- 1 単元名 大事なことをたしかめよう
教材名 「すがたをかえる大豆」「食べ物はかせになろう」 (光村図書 3年下)

2 単元の構成

(1) 教材について

本単元は、第1次教材の説明文を読み取る学習と第2次教材の情報を集めて文章にまとめる学習から構成されている。第1次教材は、小学校第3学年及び第4学年の「C読むこと」の内容(1)イ「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、文章を正しく読むこと。」オ「目的に応じて内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら文章を読むこと。」を受け、「中心となる語や文、段落相互の関係に注意して文章を読む。」ことを目標としている。また、第2次教材は「B書くこと」の内容(1)イ「書く必要のある事柄を収集したり選択したりすること。」エ「書こうとするものの中心を明確にしながら、段落と段落との続き方に注意して書くこと。」を受け、「本の調べ方を知り、身近な食べ物について調べ、分かりやすくまとめて友達と交流する。」ことを目標としている。

第1次教材「すがたをかえる大豆」は大豆やその加工食品について書かれたものである。内容的には身近であるが、見た目では大豆食品と思われないものもあり、児童にとっては意外性があり、興味をもって読み進めることができるであろう。また、大豆をおいしく食べるための工夫として5つの事例が挙げられ典型的な解説型の説明文となっているだけでなく、中心となる語句や文が明確で、その書き表し方のよさにも気付くことができると考えられる。

第2次教材「食べ物はかせになろう」は、第1次教材を活かし、身近な食べ物について本を探し調べ、集めた情報を文章にまとめ交流する教材である。この教材を通し、児童は疑問や興味をもったことを調べ、集めた情報を目的に沿って文章にまとめる活動を学ぶことになる。これは、今後の情報活用の基礎となる力を育成するのに適した教材である。

(2) 児童について

7月上旬に行った国語の意識アンケートの結果は次の通りである。

- ①国語の勉強は好きですか。(「どちらかといえば」も含む)・・・91%
- ②説明文の学習は好きですか。(「どちらかといえば」も含む)・・・100%
- ③説明文の学習で、自力で課題の答えを見つけられますか。
(「見つけることが多い」も含む。)・・・95%
- ④読書は好きですか。(「どちらかといえば」も含む)・・・100%
- ⑤自分の考えを発表できますか。(「ちらかといえば」も含む)・・・95%

アンケートの結果から、課題の答えを見つける楽しさや知らなかったことに気づく楽しさを味わい始めた児童が増えてきていることが分かる。また、「友達の考えを聞いて分かる」と答える児童の割合も増え「学び合い」の意見交流が理解を助けていることも分かる。一方、音読を苦手とし、本文に答えがあっても促されないと読んで探そうとせず簡単にあきらめてしまう児童もまだいる。「なぜだろう」「どうしてだろう」と考える児童の知的好奇心を大切に読み進め、中心となる語句や文に気をつけてまとまりを読み取っていきけるように学習展開を工夫していきたい。

(3) 指導にあたって

第1次教材の「つかむ」段階では、本教材を通しての課題は何で、こういうことが分かれればいいというゴールの見通しをもち、文章構成の大体を押さえた上で読み取りにはいれるようにする。また、実物や写真を使って大豆に興味をもたせるとともに、重要語句等が一目でわかるように色分け表示をし、読み取る際の一助となるようにする。これらを学習中は常に掲示し、仮説1の〈板書構成の工夫〉に生かせるようにする。

「ふかめる」段階では、児童の疑問や興味が生かされる課題を設定し、題名、キーワード、接続語、文末表現等を意識して中心文や大事なことをとらえることができるようにする。また、板書や掲示を活用することで全体の中での段落の役割を理解し、まとまりをとらえて、中心文をおさえることができるよう配慮する。特に③～⑦段落では、大豆の「食べにくく消化に悪い」という特徴を「おいしく食べるための工夫」をしてかえることでいろいろな食品にすがたを変えたことを繰り返し確かめることで教材を通しての課題にせまることができるようにする。

「まとめる」段階では、読み取ったことに対する自分の考えを交流する場とし、読みをより確かなものにしていく。

また、仮説3の〈評価の積み重ね〉については、意欲につながるような言葉をかけながら、よい読みや表現に気づけるように配慮していくこととする。

第2次教材では、第1次教材の書き方や文章構成を例として学習活動を進めていくこととする。支援の必要な児童には、第1次教材の文章表現に合わせて情報を収集し、まとめることができるように助言し、活動のイメージ化を図りながら活動できるよう支援する。

3 単元の目標

- ◎ 身近な食べ物についての知識を得るとともに興味を広げる。
- ◎ 中心となる語や文、段落相互の関係に注意して文章を読む。
- ◎ 本での調べ方を知り、身近な食べ物について調べ、分かりやすくまとめて友達と交流する。
 〈国語への関心・意欲・態度〉
 - ・身近な食べ物についての知識を得るとともに、興味をもって読み広げようとしている。
 〈読む能力〉
 - ・段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に理解する。〔イ〕
 - ・内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら読む。〔オ〕
 〈書く能力〉
 - ・調べて書く必要のある事柄を収集したり、選択したりする。〔イ〕
 - ・書こうとすることの中心を明確にしなが、段落と段落の続き方に注意して書く。〔エ〕
 〈言語についての知識・理解・技能〉
 - ・文章全体における段落の役割を知る。〔オ(イ)〕
 - ・漢字や言葉の意味・使い方を知る。

4 単元の指導計画と評価規準（全19時間 「読むこと」9時間、「書くこと」10時間）

第1次「すがたを変える大豆」（9時間）

段階	時	主な活動内容	評価規準〈評価方法〉		
			国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
つかむ	1	○全文を通読して、内容の大体をつかみ、学習のめあてをもつ。 ・題名について話し合う。 ・全文を読み、感想を書く。 ・どうしてすがたを変えてきたかを読み取るというめあてをもつ。	題名に関心をもち、初発の感想をもとにめあてをもとうとしている。 〈発言・ノート・態度〉	全文を読み、感想をまとめる。(分かったこと、疑問等) 〈発言・ノート〉	進出漢字を含め正しく音読できる。 〈音読・発言〉

	2	○学習計画をたて、見通しをもつ。 ・接続語や文末表現、重要語句から中心文を見つけ簡単な小見出しをつける。 ・学習計画を立てる。 ・新出漢字や語句について調べる。	手がかりをもとに中心文を探そうとしている。 〈発言・ノート・態度〉	各段落の小見出しを考えることができる。(体言止め) 〈発言・ノート〉	接続語や文末表現の役割を理解している。 「はじめ＝話題提示」「中＝事例」「終わり＝結論」という文章構成に気付いている。 〈発言・ノート〉
ふ か め る	3	○筆者の提示した話題を読み取る。①②段落 ・大豆とはどんなものでなぜおいしく食べるための工夫が必要なのかを見つける。	筆者の話題提示の内容をみつけようとする。 〈態度・発言〉	大豆そのものの特徴と食べる際の欠点を読み取ることができる。 〈発言・ノート〉	文末や重要語句に気をつけて読んでいる。 〈発言・ノート〉 「大豆」「指示語」「～のです」「そのため」
	4	○おいしく食べるための工夫1・2について読み取る。③④段落 ・調理の工夫やできる料理、食品という観点で読み取る。	おいしく食べるための工夫を読み取ろうとしている。	順序を表す言葉をもとに2つの工夫と料理、食品を読み取り、まとめることができる。 〈発言・ノート〉	「くふう」「いる」「にる」「次に」「(こなに) ひく」
	5	○おいしく食べるための工夫3を読み取る。 ⑤段落 ・どんな工夫をして大豆を豆腐に変えたのかを読み取る。	大豆が豆腐になるまでの工夫を読み取ろうとする。	大豆から白い汁(豆乳)を取り出して豆腐という違う食品にする工夫を読み取ることができる。〈発言・ノート〉	「また」「すりつぶす」「熱する」「にがり」「とうふ」
	6	○おいしく食べるための工夫4を読み取る。 ⑥段落 ・どんな工夫をして大豆をなっとうやみそしょうゆに変えたのかを読み取る。	大豆がなっとう、みそ、しょうゆになるまでの工夫を読み取ろうとする。	大豆にナットウ菌やコウジカビの力を借りてなっとうやみそしょうゆという違う食品にする工夫を読み取ることができる。 〈発言・ノート〉	「さらに」「ナットウキン」「コウジカビ」「むす」「みそ」「しょうゆ」
	7	○おいしく食べるための工夫5を読み取る。 ⑦段落 ・どんな工夫から大豆を枝豆やもやしにしたかを読み取る。	枝豆やモヤシとなった工夫を読み取ろうとする。	枝豆やモヤシという食べる時期や育て方の工夫を読み取ることができる。〈発言・ノート〉	「これらのほかに」「ゆでる」「えだ豆」「もやし」
	8 本時	○大豆をいろいろな姿で食べてきたわけを読み取る。 ⑧⑨段落 ・「大豆の良さ」をいかし「おいしく食べるための工夫」によりすがたをかえてきたことをまとめる。	結論をくわしく読み取ろうとしている。	「大豆の良さ」を生かし「おいしく食べるための工夫」により、すがたをかえてきたことを読み取ることができる。〈発言・ノート〉	「このように」「そのうえ」「やせた土地」「ちえ」

まとめる	9	○学習を振り返り、自分の考えをまとめる。 ○話題提示・事例・結論の書き方をつかんでいる。	学習をもとにすがたをかえる食べ物について考えをまとめようとしている。 〈態度・発言・ノート〉	大豆以外の食べ物にも姿を変える工夫があることに気付いている。 〈発言・ノート〉	姿を変える大豆以外の食べ物の名前
------	---	---	---	--	------------------

第2次 「食べ物がかせになろう」 (10時間)

段階	時	主な活動内容	評価規準〈評価方法〉		
			国語への関心・意欲・態度	読む能力 書く能力	言語についての知識・理解・技能
つかむ	1	○学習の見通しをもつ。 ・音読し、学習の進め方を確認する。	題を決め、調べ、まとめるという学習の進め方のイメージをもとうとしている。 〈発言、ノート〉	文章にまとめるまでの手順が分かる。 〈発言、ノート〉	新出漢字を正しく読むことができる。 〈音読〉
ひろ	2	○調べ方を学ぶ。 ・本の探し方や目次・索引の活用の仕方を知り、練習する。	目次・索引等を活用しようとしている。 〈図書利用〉	必要な情報を探す方法を理解している。 〈図書利用〉	辞書等を利用して調べる方法を理解している。 〈図書利用〉
	3	○調べたいことを決め、まとめ方を学ぶ。 ・疑問をもとに題を決める。 ・情報の整理の仕方、まとめ直す方法を確認する。	調べたい内容や情報の整理の仕方、まとめ方を理解しようとしている。 〈発言、ノート〉	教材文を参考に文章構成を構想し、まとめることを理解している。 〈発言、ノート〉	食べ物に関する言葉を知っている。分からないことは辞書で調べることができる。 〈発言、ノート〉
げ	4	○調べたことを書き出し整理する。	調べたい食べ物について、選んだ本で進んで調べようとしている。 〈調査メモ〉	調べたことを書き出し、必要な情報を収集・整理できる。 〈調査メモ〉	分からないことは辞書等で調べる。 〈辞書利用〉
	5				
る	6	○文章にまとめる。 ・整理した調査メモの表	自分が調べた食べ物について、まとめようとしている。 〈記述〉	必要な情報を整理・選択しながら文章構成を構想し、食べ物について文章にまとめている。 〈記述〉	句読点を適切にうち、段落のまとまりに注意して文章を書いている。 〈記述〉
	7	・文章にまとめる。			
	8	○推敲する。 ・誤字脱字等を直す。 ・言葉をかえたり説明を加えたりする。	文章に間違いがないか進んで推敲しようとしている。 〈推敲メモ〉	誤字脱字や主述の整合等に気をつけ、推敲している。 〈推敲メモ〉	送り仮名の間違いや文末を確かめている。 〈推敲メモ〉
	9	○清書する。 ・推敲をもとに清書する。	丁寧に清書しようとしている。 〈清書〉	推敲をもとに丁寧に清書している。 〈清書〉	文字の形を整えて書いている。 〈清書〉
まとめる	10	○出来上がった文章を読み合う。 ・友達と文章を読み合う。	友達の文章のよさを見つけ、参考にしようとしている。 〈評価カード・発言〉	友達の文章の良さに気付いている。 〈評価カード・発言〉	文字や常体敬体に気をつけて相互評価カードに書いている。 〈評価カード〉

5 本時の指導（2組 8／19時間）

(1) 目標 大豆がすがたをかえた理由は、良さに気づき欠点を食べ方の工夫で解決してきたからだということを読み取ることができる。

(2) 指導にあたって

○仮説1〈板書構成の工夫〉に関わって

食べ方の工夫は欠点を変えるための工夫であることや大豆のよさを視覚的に提示する。

○仮説2〈学び合い〉に関わって

「一人学び」として、「大豆のよさ」をノートにまとめる。それを1段落の短所と比較して、筆者は何に驚かされたのかを「学び合い」としてみんなで考える。また、よさの発見にとどまらず、大豆の姿をいろいろ変えて食した昔の人の知恵に目を向けた「学び合い」になるようにする。

○仮説3〈一人一人の評価の積み重ね〉に関わって

単元を通しての「学習の進め方シート」により、自分の学習の全体や手がかりとした重要語句等を確認できるようにする。また、単位時間の自己評価に対して朱書きのコメントで認め励ますことで意欲を高めるようにする。

(3) 展開

段階	学習内容と学習活動（○発問・児童の反応）	一人	複数	全体	・留意点 評価〈評価方法〉
つかむ7分	<p>1. 本場面の確認と前時想起をする。 ○「このように」で始まる今日の場面の役割はなんですか。 ○これまで何について読み取ってきましたか。</p> <p>2. 学習課題を確認する。 大豆がいろいろなすがたで食べられているのはなぜだろう。</p> <p>○「いろいろなすがた」とはどんなすがたですか。 ○このようにいろいろなすがたで食べられてきたわけを読み取ります。 ・まとめの形を確認する。 それは ～だからです。</p>				<p>・まとめの場面であることを示す「このように」という言葉で始まる文を提示し、その指示内容を確認する。 〈挙手・発言〉</p> <p>・まとめの1文から課題を作る。 ・「いろいろなすがた」を確認し、掲示する。 「なぜ」と「理由」を聞いているので、それに呼応する文末となることを確認する。</p>
ふかめる	<p>3. 課題解決の見通しをもつ。 ○理由を書いているところはどこでわかりますか。 ・～だから ・～のため～なため</p> <p>4. 課題解決をする。 ○8・9段落を音読し、理由を見つけましょう。 ◎いろいろなすがたで食べられるわけをノートに書きましょう。 ・あじもよく、たくさんのえいようをふくんでいるから。 ・やせた土地にも強く、育てやすいから。 ・多くの地いきで植えられたため。</p>		一人	学び	<p>・手がかりとして紙板書で提示する。</p> <p>・見つけることができない子には、「～から」に気づけるように「です」等の文末を隠す。 ・早く作業を終えた子には9段落に答えになる「理由」がないか探すように声をかける。 〈ノート〉</p>

<p>ふかめる 30分</p>	<p>○見つけた「理由」を発表してください。 ○今発表したことは、全部、大豆の何について いますか。 ・大豆のよいところ ○大豆の欠点はなんでしたか。 ・そのままでは食べにくいところ ・消化が悪いこと</p> <p>○「おどろかされます」の主語はだれですか。 ・筆者</p> <p>◎筆者は、何にそんなにおどろかされたので しょう。 ・昔の人のちえ ・いいところに気付いたこと ・いろいろな食べ方を考えたこと ・いろいろな工夫をしたこと ・おいしく食べるための工夫をしたこと ・昔から工夫してきたこと</p> <p>5. 課題についてまとめる。 ○いろいろなすがたで食べられるようになった わけをまとめましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>それは、大豆のよいところに気づき、お いしく食べるためのくふうをしていろ いろ大豆食品として食事に取り入れられ てきたからです。</p> </div>		<p>学 び 合 い</p>	<p>・板書の際は短い言葉で書く。 ・9段落の「大豆のよいところ」 にサイドラインを引かせ、その 内容が8段落にまとめられて いたことを確かめる。 ・欠点を克服するための工夫で あったことを思い出させるた めに、掲示の表を活用する。 ・9段落で8段落の内容を「大 豆のよいところ」とおさえたこ とに注目させ、筆者の感想を強 調する。 ・根拠をこれまでの学習におか せ、これまでの学習の内容から はずれないようにする。 (挙手・発言)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A評価＝欠点を工夫し大豆 のよさを生かしてき たことにふれてまと めることができる。 Cへの支援 赤色チョークで示 されたところを中心 に言葉を入れるこ とができるようにワー クシートを用意する。</p> </div> <p><ノート></p>
<p>ま と め る 8 分</p>	<p>6. 学習の振り返りをする。 ○今日の学習を振り返りましょう。 ・まとめと感想を発表する。</p>			

《自己評価の観点》

- 見通しをもち、課題の答えを見つけることができたか。
- 自分の考えを発表することができたか。
- 友達の発表の良さに気づくことができたか。

(4) 主な発問と板書計画

<p>3年 「すがたをかえる大豆」(8/19時間目)</p>	<p>指導者 河井 博子</p>
<p>(1) 目標 大豆がすがたをかえた理由は、良さに気付き欠点を食べ方の工夫で解決してきたからだということを読み取ることができる。</p> <p>(2) 指導にあたって</p> <p>○仮説1〈板書構成の工夫〉に関わって 食べ方の工夫は欠点を変えるための工夫であることや大豆のよさを視覚的に提示する。</p> <p>○仮説2〈学び合い〉に関わって 「一人学び」として、「大豆のよさ」をノートにまとめる。それを1段落の短所と比較して筆者は何に驚かされたのかを「学び合い」としてみんなで考える。また、昔の人の知恵に目を向けた「学び合い」になるようにする。</p> <p>○仮説3〈一人一人の評価の積み重ね〉に関わって 単元を通しての「学習の進め方シート」により、自分の学習の全体や手がかりとした重要語句等を確認できるようにする。また、単位時間の自己評価に対して朱書きのコメントで認め励ますことで意欲を高めるようにする。</p>	
<p>・学習の感想を発表してください。 (まとめる)</p> <p>☆いろいろなすがたで食べられるようになったわけをノートにまとめて書いてみましょう。</p> <p>○筆者は何にそんなに驚かされたのですか。</p> <p>○今発表したことは、大豆の何についていっていますか。</p> <p>○大豆の欠点は何でしたか。</p> <p>○「おどろかされます」の主語はどれですか。</p>	<p>主発問等 (つかむ)</p> <p>○これまで何について読み取ってききましたか。</p> <p>○今日の場面がまとめだとわかるのはなぜですか。</p> <p>・今日は大豆がいろいろなすがたで食べられているわけをまとめます。</p> <p>(ふかめる)</p> <p>○理由を書いてあるところはどこでわかりますか。</p> <p>○いろいろな姿で食べられるわけをノートに書きましょう。</p> <p>・発表しましょう</p>
<p>まとめ</p> <p>それは、大豆のよいところに気づき、おいしく食べるためのかふうをしていろいろな大豆食品として食事に取り入れられてきたからです。</p> <p>★おどろかされた(筆者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔の人のちえに ・工夫したことに <p>いろいろな食品を考えたことに</p>	<p>〈板書計画〉すがたをかえる大豆 国分 牧衛 作 おいしく食べるための工夫とすがたを変えた大豆食品</p> <p>大豆がいろいろなすがたで食べられているのはなぜだろう</p> <p>このように (小黒板)</p> <p>多くの食べ方が考えられた</p> <p>大豆のよさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あじがよい ・たくさんのえいよう ・やせた土地に強い ・育てやすい ・多くの地いきで植えられた <p>大豆の欠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べにくい→<u>食べやすい</u> ・消化も悪い→<u>消化のよい</u> <p>昔の人のちえ (昔から 時間をかけて) 大豆のよいところ 食事に取り入れた</p>